

《各学年の特徴》

- 1年 曲に合わせて元気に歌ったり、楽器を演奏したり、楽しみながら活動をする児童が多い。
- 2年 曲に合わせて歌ったり、楽器を演奏したり、楽しみながら活動をする児童が多い。鑑賞して感じたことを言葉で表現できる。
- 3年 歌ったり、楽器を演奏したりすることに対して、楽しみながら活動できている児童が多い。
- 4年 曲にあった表現を考え、歌ったり演奏したりできる。
- 5年 曲にあった表現を仲間と考え、歌ったり演奏したりできる。
- 6年 曲にあった表現を仲間と考え、意見をまとめて、歌ったり演奏したりできる。

育てたい力（課題）

- 1年 歌い方や鍵盤ハーモニカの演奏方法等の基礎・基本を身に付け、音楽を楽しむ力。
- 2年 歌や演奏を友達と合わせたり、聴き比べようとしたりする力。
- 3年 音楽を楽しみながら、曲の感じや音楽のしぐみを理解するとともに、表現をするために必要な技能（歌唱・器楽）を身に付け、表現する力。
- 4年 音楽を楽しみながら、音楽表現の仕方について友達と関わり合うことを通して、表現する力。
- 5年 音楽を楽しみながら、曲想や音楽の構造を理解し、思いや意図をもって友達と関わりながら表現する力。
- 6年 音楽を楽しみながら、音楽的な見方・考え方を働かせ、思いや意図をもって友達と関わりながら表現する力。

☆授業改善の具体策☆

- ・担任、教科担任との連携⇒他教科とのクロスカリキュラム
- ・学校公開の活用 ・音楽集会の活用 ・学校行事との連携
- ・音楽室の環境整備 ・ICT機器の活用 ・ホワイトボードの活用

《知識及び技能》

《思考力・判断力・表現力等》

《学びに向かう力》

低学年 体を動かす活動を通して、曲の感じや音楽のしぐみについての理解を深める。歌い方や鍵盤ハーモニカの演奏方法を、友達・教師と音を合わせながら身に付けるようにする。

中学年 曲想と音楽の構造などの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。

高学年 曲想と音楽の構造などの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。

低学年 体を動かしたり、歌ったりして、曲や演奏の楽しさを見出し、音楽を味わって聴くことができるようにする。

中学年 音楽表現を考える活動を通して、表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見い出しながら、音楽を味わって聴くことができるようにする。

高学年 音楽表現を考え、友達と交流することを通して、表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見い出しながら、音楽を味わって聴くことができるようにする。

低学年 友達と交流しながら、楽しく音楽に関わりあう活動を工夫することで、身の回りの様々な音楽に親しもうとする態度を養う。

中学年 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じられるように活動を工夫することで、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

高学年 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わえるように、交流の方法や場を工夫することで、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。